



2019年トレンド予測

新卒採用領域

正社員を中心とした新卒・中途採用のお手伝いをしている会社

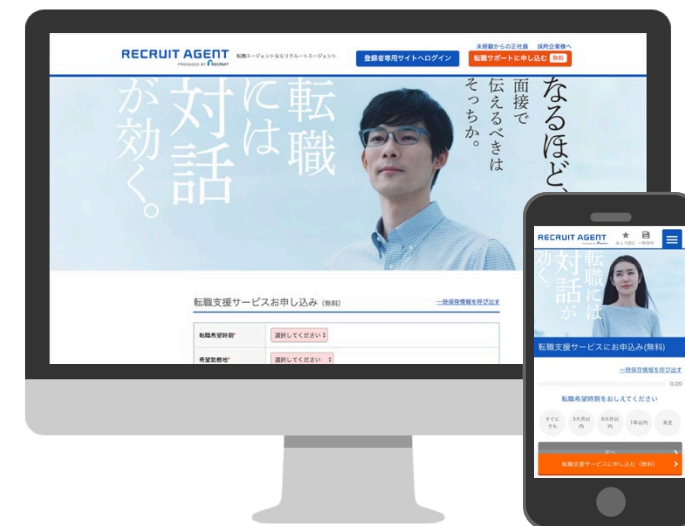
就職情報サイト



転職情報サイト



転職エージェント



※サービスお申し込みはサイトから実施



地域の中小企業と行政・金融機関が連携。
街ぐるみで地域に根差す若者の定着支援。

中小企業1社では実施できなかった

街ぐるみでの活動

地域で働く魅力の
発信力高まる！

採用・育成の
手厚いプログラム
提供

研修を通じた
学生同士のつながり

本来的に存在した
街への愛情を
地域に根差せる
場づくり

都市部からの
Uターン/Iターン
事例が増加

地方での採用課題

地方からの人口流出と昨今の売り手市場を背景に、地域振興を図るといった共通の目的が設定されたことで、利害の異なる採用競合同士が地域コミュニティを形成。

仲間作りも視野にいれた

“ 地域ぐるみでの採用と育成 ”

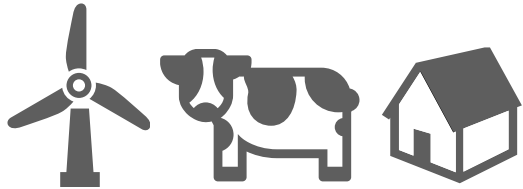
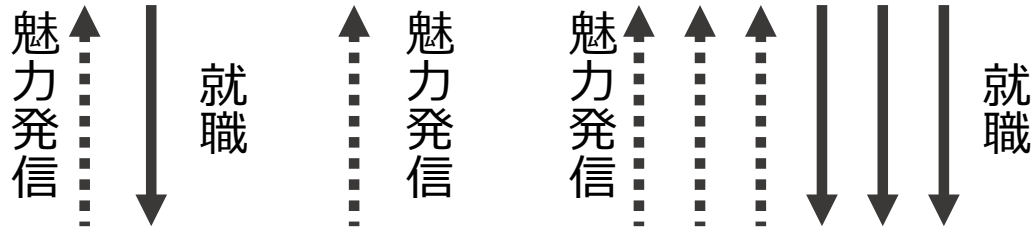
- 1 地域に就労する価値を深く知ってもらうため
地域内の他社との面談を推奨
- 2 入社後の孤立防止と定着を見据えた、
合同での内定式や研修

U・Iターンという稀少な学生たちの不安に寄り添う

新しい協同体とのマッチングの形

これまでの形

学生



地域の企業

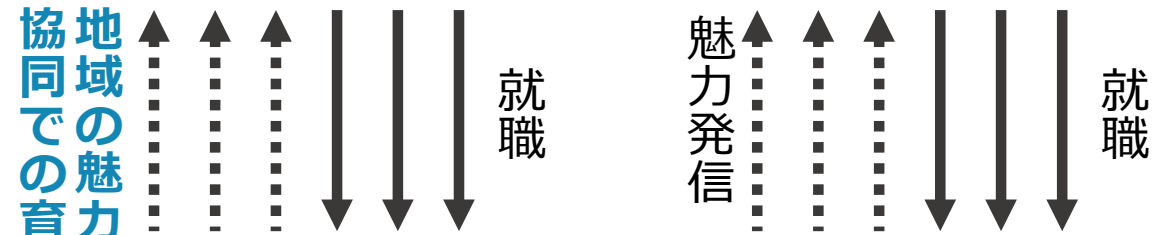


都心の企業

- 都心就職希望学生
- UIターン希望学生

新たにできた形

学生



地域の企業

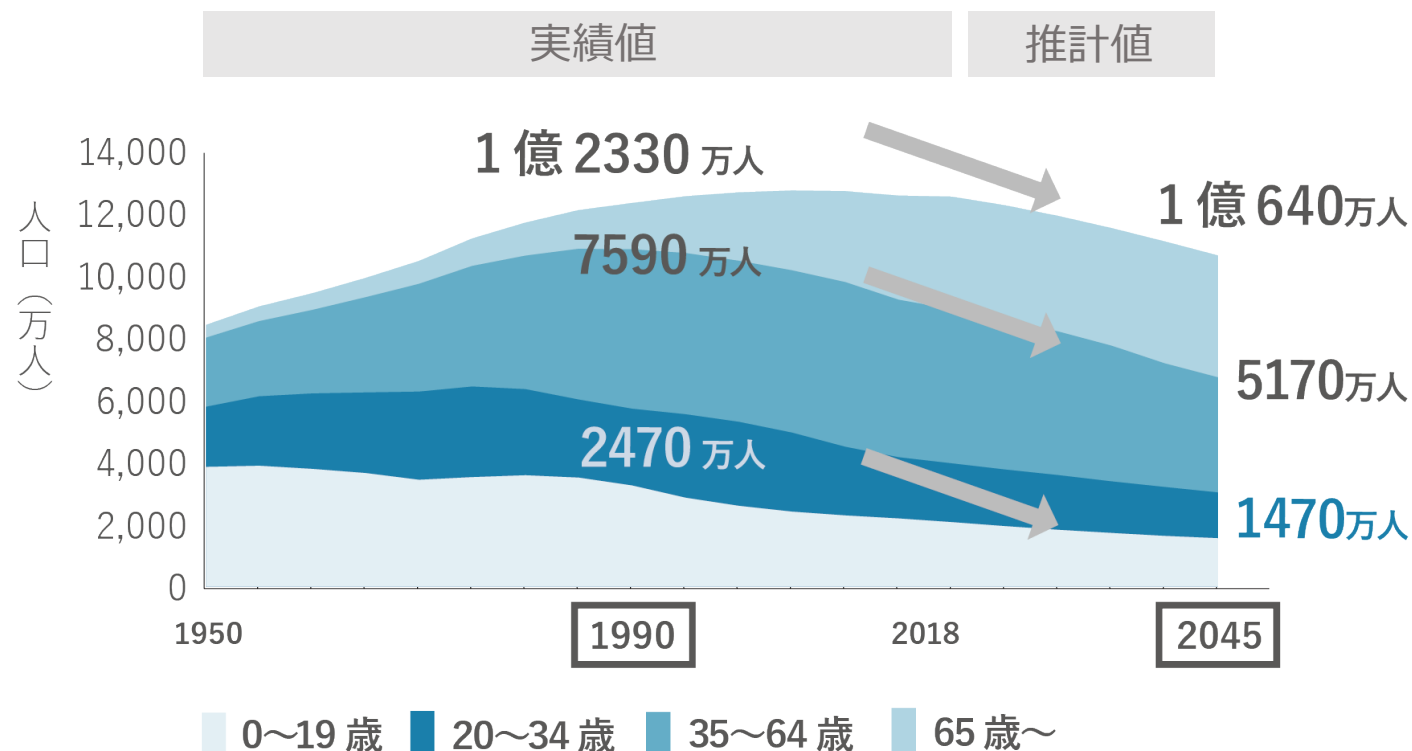


都心の企業

“日本の若者の比率が減少”

日本の若者人口の推移

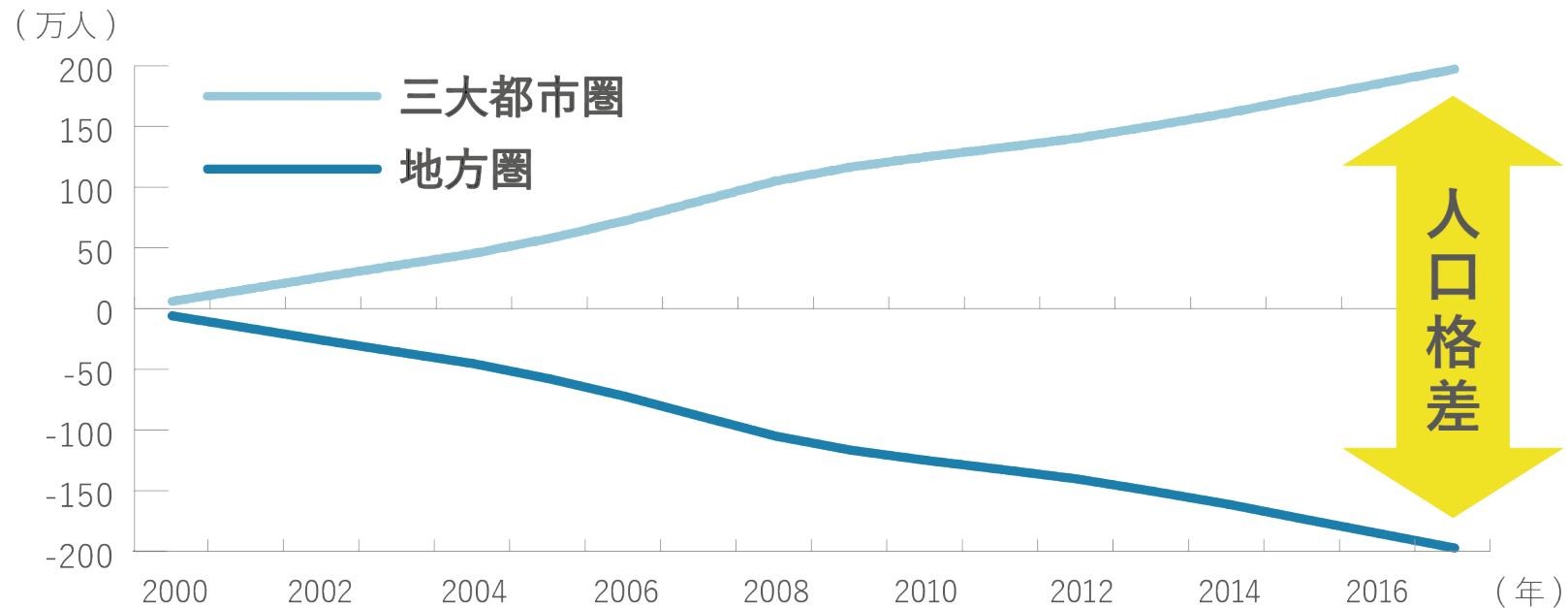
1990年と2045年の比較



出典：2015年までは総務省統計局「国勢調査」（2015）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」を基に株式会社リクルートキャリア作成
 ※生産年齢人口は20～34歳、35歳～64歳の合計※人口数は一万の位を四捨五入、%は小数点第一位を四捨五入

“ 地方圏から三大都市圏へ人口流出 ”

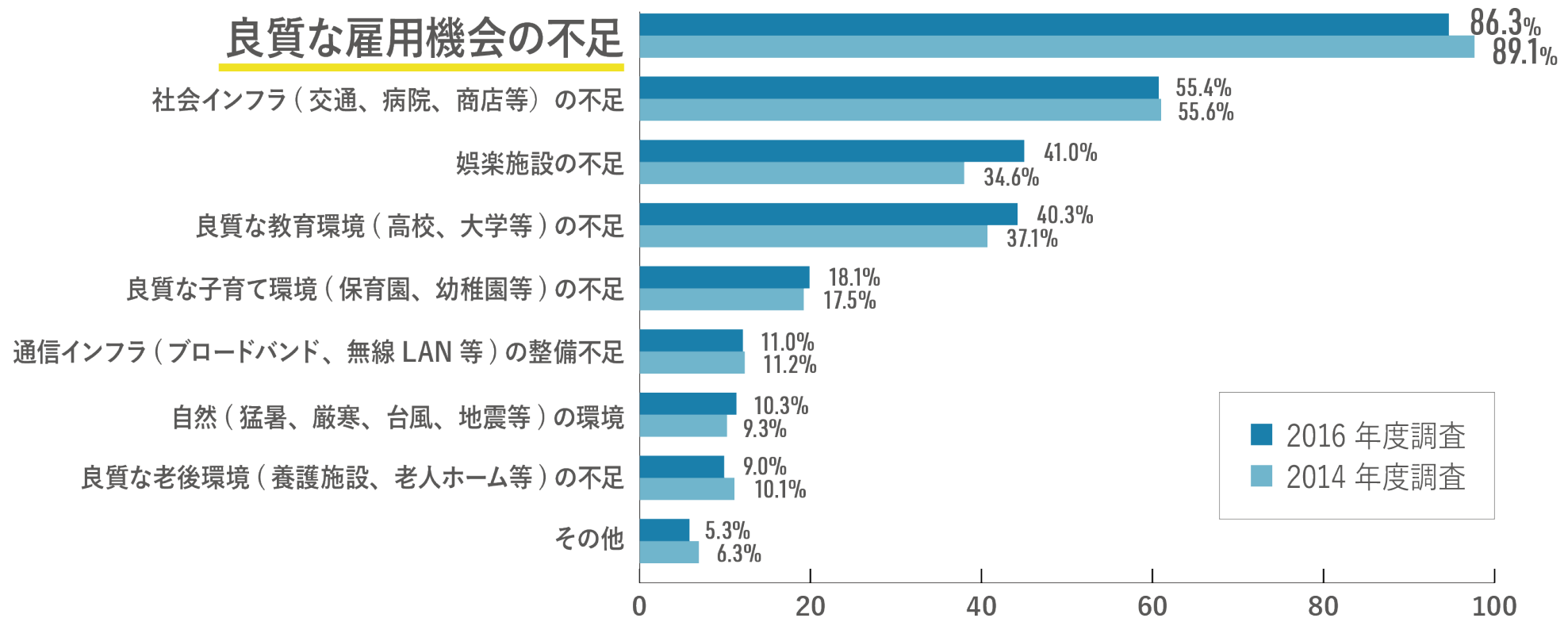
三大都市圏および地方圏の転出入超過数の累計



出典：総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」（2018年8月28日）を基に株式会社リクルートキャリア作成
三大都市圏 | 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県
地方圏 | 三大都市圏以外の1道38県

“ 地方圏の人口流出要因は良質な雇用機会の不足 ”

地方自治体が考える人口流出の要因

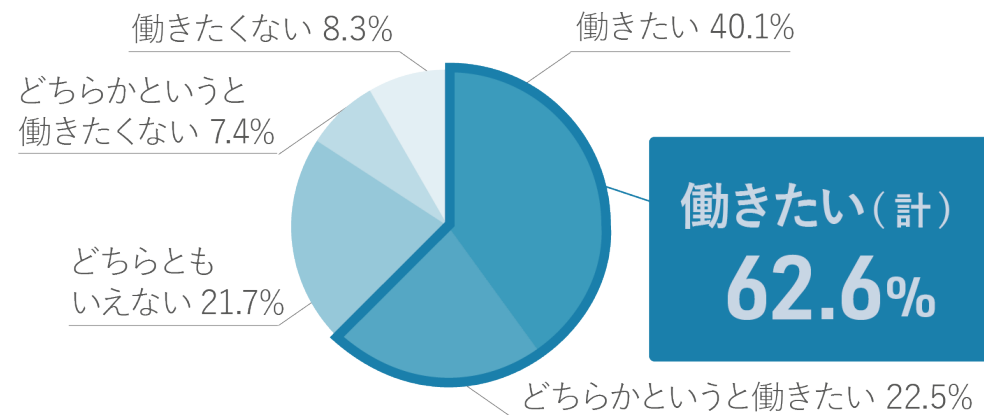


出典：総務省「地域におけるICT利活用の現状に関する調査研究（平成27年）」、
総務省「地域におけるICT利活用の現状に関する調査研究（平成29年）」を基に株式会社リクルートキャリア作成

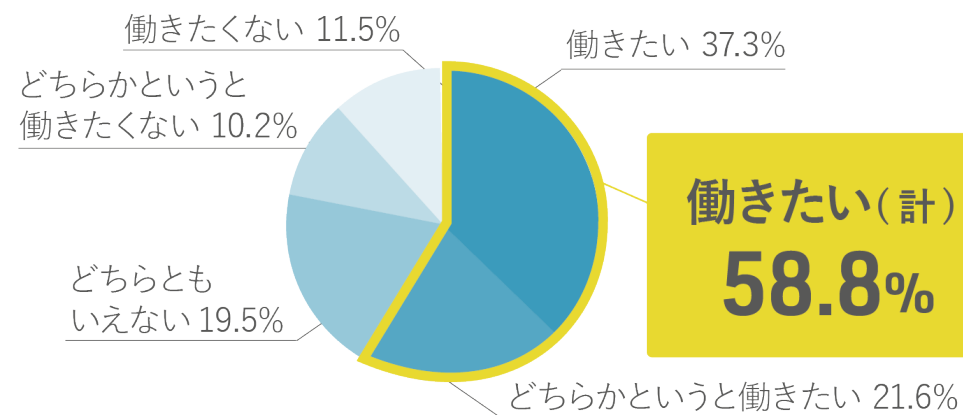
“働きたいが働きたくないを上回る”

大学生の地元就職意向

三大都市圏



地方圏



出典：株式会社リクルートキャリア 就職みらい研究所「大学生の地域間移動に関するレポート」
2015～2017年実施調査の3年分統合データより、大学生で就職先確定者の11,981名
※%表示の際に小数点第2位で四捨五入しており、合計値が100%に一致しない場合がある

※大学生の帰省先地域（地元）のうち、三大都市圏と三大都市圏以外（地方圏）とに分類
三大都市圏 | 埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、愛知県、京都府、大阪府、兵庫県
地方圏 | 三大都市圏以外の1道38県

“ 安心した環境は選択したいが、仕事が見つからない ”

Uターン移住のきっかけ

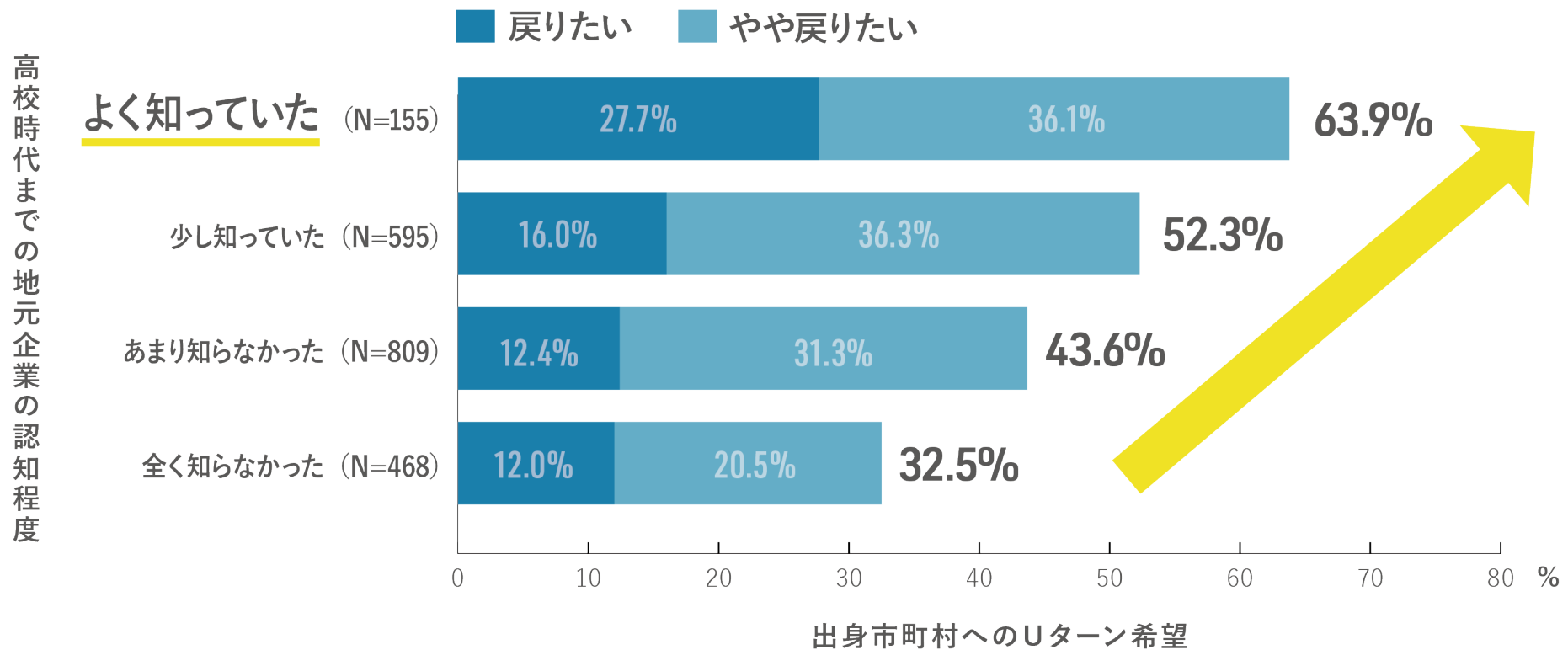
- 1位 両親の近くに住みたくて 27.1%
- 2位 首都圏はずっと住む場所ではないと思って 26.6%
- 3位 首都圏での生活や人間関係にストレスが募って 22.7%
- 4位 両親が自分のことを心配していて 17.6%
- 5位 退職して 16.5%

Uターン移住の不安

- 1位 求める職種の仕事がない / なさそう 18.5%
- 2位 仕事の職種・幅が少なそう 17.1%
- 3位 移住後の生活費 / やりくり 15.1%
- 4位 求める給与水準の仕事が少ない / なさそう 14.3%
- 5位 移住にかかる諸費用 / 金銭的負担 13.1%

“ 地元企業のことを知っている と戻りたくなる ”

地元企業の認知程度別・出身市町村へのUターン希望



出典：独立行政法人労働政策研究・研修機構「地域雇用の現状と課題」（2016年5月11日）を基に
株式会社リクルートキャリア作成
※%表示の際に小数点第2位で四捨五入しており、合計値が一致しない場合がある

1

まち・ひと・しごと 創生本部設置



まち・ひと・しごとの創生が
国家アジェンダに！

- ①東京一極集中の是正
- ②若い世代の就労・結婚・子育ての希望の実現
- ③地域の特性に即した地域課題の解決

※首相官邸ホームページより

2

わきたつ 東北戦略会議



東北経済同友会主催
産学官のTOPが集まり
開催された会合

※東北経済連合会ホームページより

3

ふるさと教育



島根県教育委員会

重点施策である「ふるさと教育」を、
2005年から全ての公立小中学校・
全学年・全学級で進めている

※島根県庁ホームページより

活動コンセプト

“ 人口減少の全力抑制 ”

兵庫県豊岡市の人口予測

2010年：85,592人

2040年：57,608人

1

豊岡市と企業が協同
(採用と育成)



2

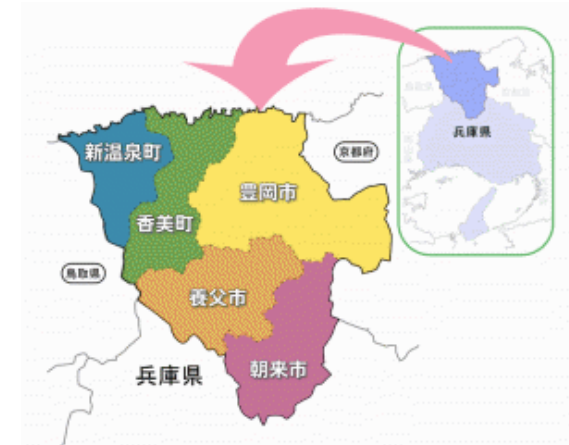
地元の名産



靴 / コウノトリ / 城崎温泉

3

兵庫県 但馬区域



兵庫県北部の豊岡市、養父市、朝来市、
香美町、新温泉町を管轄する区域

移住者を増やしたい豊岡市と人手不足を解消したい企業、
計14社が協同で採用と育成に取り組む

地域としての採用向上



1 人事情報共有会



新入社員の孤立を防ぐ



2 合同キャリア開発研修

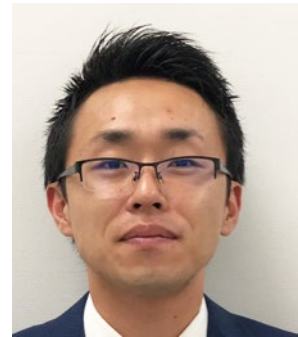




●(株)川嶋建設 総務部 坂本さん

「学生へは企業説明の前に、**地域の魅力を伝えている**」

「地域の魅力を伝えるのに自社だけでは不十分であれば積極的に**他社を紹介**する」



●但馬銀行 地域密着推進課 北垣さん

「優良企業でも人がいなければ立ち行かない。**人材課題は経営課題** そのもの」

「人事間情報連携によって地域の雇用課題の再認識につながる」



●豊岡市役所 UIターン戦略室 若森主幹

「**若者回復率(*)**の引き上げは**人口減少抑制**のための重要な対策」

「通信手段の発達はやさしい地方暮らしを可能にする。そういう選択肢を示したい」

*10 歳代の転出超過数に対して、20 歳代の転入超過数が占める割合



道の駅まほろばの
皆さん

関西・北海道からの
Uターン/
鹿児島からのIターン



但南建設(株)

Fさん

大阪からのUターン



袖長建設(有)

Sさん

地元の大学

Q.地元で働く喜びとは？

A.「おじちゃんたちが野菜持ってきてくれる。人通しの繋がり、ぬくもりを感じる」

Q.休日の過ごし方は？

A.「毎週同期の家に集まって遊んでいる、**居場所を感じる**コミュニティ」

Q.地元に戻ろうと思った理由は？

A.「**地元が好き**、人が減り祭りや運動会ができない、商店街も閉じて寂しい」

Q.合同研修のいいところは？

A.「先輩と世代が違う、会社同期と接点なし。研修で悩みが知れ励みになる」

Q.地元に戻ろうと思った理由は？

A.「古民家再生で貢献したい。会社で**町のために**という言葉は頻繁に出る」

Q.建築に携わる理由は？

A.「土木施工管理で同世代と会わない。建築は多くの人に関わるので他業種と触れられて良い」

活動コンセプト

“十勝”として最後まで面倒を見る！

北海道帯広市の人口予測

2010年：168,057人

2040年：131,198人

1

帯広市と企業が協同
(採用と育成)



2

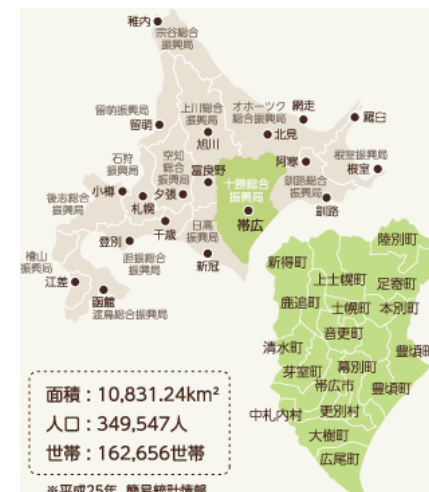
地元の名産



畑作 / 酪農 / 農業 / 製菓業

3

食糧基地区域



25.6万ha(*)の耕地面積を占める
食糧基地としての役割を担う区域

*十勝総合振興局のホームページより

多くの十勝企業の認知

会社を超えた 横の繋がりを増やす

1 とかち業界研究フェア



2 合同内定式





●十勝三菱自動車販売(株) 総務課 宮本係長

「十勝のどこかの企業に学生が勤めてくれば本望」と想って活動している」

「2011年頃、200人いた業界研究フェアが直近では60名程度の状況」



●川田工業(株) 川田取締役 専務執行役員

「協議会は人事同士の教えあう場」「自社利益を前面に出すのではなく、

学生の悩みに真摯に応えることは地域の先輩である大人の役目」



●帯広市役所 商工観光部 鷺北係長

「十勝で働く魅力」はアグリテック等、北海道ならではの **農業を取り巻く周辺の産業**」

「身内や知り合いのいないIターン者が繋がりを持てる仕組みの構築が重要」



●十勝三菱自動車販売株式会社の皆さん
札幌からのUターン

Q.地元に戻ろうと思った理由は？

A. 「人事の方が、名前を覚えてくれた」「**家族や親せきとの距離が近い**。働き続けるなら地元がいいと思った」

Q.休日の過ごし方は？

A. 「同期と過ごすことがよくある。別の会社の同期とLINEを交換した」



●北王ホールディングス(株) Sさん
奈良からのUターン

Q.地元に戻ろうと思った理由は？

A. 「家族との距離が近く、**豊富な自然と美味しいご飯**があるから」

Q.Uターン活動は大変だった？

A. 「3週間学校を休んで十勝で就職活動を行った」



●(株)カルテック Kさん
大阪からのUターン

Q.地元に戻ろうと思った理由は？

A. 「悩んだ時に**相談に乗ってくれる知り合い**がいること」

Q.十勝の魅力は？

A. 「豊富な自然と美味しいご飯があり、住みやすい」

就職 - CITY -

就域 - LOCAL -





**地域の中小企業と行政・金融機関が連携。
街ぐるみで地域に根差す若者の定着支援。**

東京一極集中に歯止めが利かない現状において、限られた次世代の若者を地域一体となって育むことで地域振興を図るといった共通の目的を設定。本来であれば利害の異なる採用における競合同士が地域コミュニティを形成し、採用活動や研修活動を行う事例がでてきている。

中小企業1社では実施できなかった。

街ぐるみでの活動

地域で働く
魅力の発信力
高まる！

採用・育成の
手厚いプログラム
提供

研修を通じた学生
同士のつながり

本来的に存在した
街への愛情を地域に
根差せる場づくり

都市部からの
Uターン/Iターン
事例が増加